

リンゴ晩生種 ‘メロー’

研究のねらい

‘国光’・‘紅玉’に替わる新品種を育成する。

研究の成果

選 抜 理 由： ‘王林’に替わる品種として選抜された。

組み合わせ：19号（ ‘ゴールデンデリシャス’ × ‘印度’ ） × ‘印度’

交 配 年 次：1958年（昭和33年）

登 録 年 次：1990年（平成2年）11月

命名の由来：「熟して甘い」を意味する英語の「MELLOW」と青森県津軽地方の方言にある、「おいしい」を意味する「メッロー」に由来する。

樹 の 性 質：樹姿は ‘ゴールデン’ に似ており、やや開張性となる。樹勢は中程度である。側枝は出やすい。斑点落葉病及び黒星病抵抗性は ‘ふじ’ 並である。

収 穫 時 期：10月下旬から11月上旬で、 ‘王林’ より少し早い。

果 実 特 性：果実の大きさは300 g程度で、果形は長円形～円形である。果色は黄色で、陽向面がわずかに淡い紅色に着色する。果肉はち密で、果汁が多く、甘い品種である。食味は良好である。貯蔵中にメロンのような甘い香りを生ずる。貯蔵性は冷蔵で3月末までである。



発表資料

1. 山田三智穂ら（1991）. リンゴ新品種 ‘メロー’ について. 青森りんご試報 27：101-109
2. 佐藤 耕（1994）. 果樹主要品種解説. 日本果樹種苗協会.